

中小企業景気動向調査

(2024年1～3月調査)

きんしん
景況レポート
vol.183
(2024年4月25日発行)

目次

全業種業況概要(業況～設備の状況)	1
業種別業況の推移	3
製造業／卸売業／小売業	4
建設業／サービス業／不動産業	5
中小企業における人材戦略について	6

調査方法

この調査は中小企業を対象に
取引先に出向き、
聞きとりしたものです。

調査時点

2024年3月初旬

調査対象時期

2024年1月～3月実績及び
2024年4月～6月予想

調査対象企業の業種別及び有効回答数

	企業数	構成比(%)	有効回答数	回答率(%)
製造業	56	28.0	50	89.3
卸売業	21	10.5	13	61.9
小売業	42	21.0	30	71.4
建設業	32	16.0	27	84.4
サービス業	32	16.0	27	84.4
不動産業	17	8.5	13	76.5
合計	200	100.0	160	80.0

分析方法

D.I (ディフュージョン・インデックス)

A=良い(増加・上昇・過剰)

B=ややA

C=普通(変わらず・適正)

D=ややE

E=悪い(減少・下降・不足)

$D.I = A \cdot B - D \cdot E$

この調査の中では傾向を見る方法の一つとしてD.Iを中心として分析したもので、D.IはDiffusion Index(拡張指数)の略です。

企業が景況判断・予想を5段階(A,B,C,D,E)で行います。不変部分(C)を除いて増加(AもしくはB)したとする企業が全体に占める構成比と減少(DもしくはE)したとする企業の構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトル(方向線)の傾向を見る方法です。

概況

業況・売上額・収益ともに悪化

金沢信用金庫が行った中小企業160社の景気動向調査(調査回答先:金沢市中心の業務区域内200社・回答率80.0%)の概況は次のとおり。

今期の全産業ベースの業況判断DI(「良い」・「やや良い」-「悪い」・「やや悪い」の構成比、以下同じ)は▲17.5(前期2.5)と20.0ポイント悪化した。

業種別では、不動産業は30.8(前期7.1)と23.7ポイント改善したが、製造業が▲30.0(前期▲2.2)と27.8ポイントほか、卸売業が▲46.2(前期▲

6.3)と39.9ポイント、小売業が▲40.0(前期▲13.3)と26.7ポイント、建設業が3.7(前期23.1)と19.4ポイント、サービス業が0.0(前期12.0)と12.0ポイント悪化した。全産業ベースでの来期予想DIは▲12.5と5.0ポイントの改善を予想している。

また、全産業ベースの売上額判断DIは▲20.6(前期3.8)と24.4ポイント悪化、収益判断DIも▲24.4(前期▲7.6)と16.8ポイント悪化した。来期予想では、売上額判断DIが11.3と31.9ポイントの改善、収益判断DIも2.5と26.9ポイントの改善を予想している。

今回の調査で経営上の問題点として最も多かった回答は「売上の停滞・減少」(全回答中42.5%)で、以下、「人手不足」(全回答中35.0%)、「原材料高」(全回答中23.1%)であった。また、当面の重点経営施策として最も多かった回答は「経費を節減する」(全回答中46.3%)で、以下、「販路を広げる」(全回答中35.6%)、「人材を確保する」(全回答中33.8%)という結果となった。

(注)2023年10～12月を前期、2024年1～3月を今期、2024年4～6月を来期という。以下同じ。

景況天気図

(この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。)

好調 ← ☀️ ☁️ ☔️ ☂️ ☁️ ☔️ ☂️ → 低調

業種名	2022年(令和4年)			2023年(令和5年)				2024年(令和6年)	見通し
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	2024年(令和6年)
総合	☔️	☁️	☁️	☔️	☁️	☁️	☁️	☔️	☁️
製造業	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☔️	☁️
卸売業	☁️	☁️	☀️	☀️	☁️	☁️	☁️	☔️	☔️
小売業	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☁️	☁️	☔️	☔️
建設業	☔️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️
サービス業	☔️	☔️	☁️	☔️	☁️	☔️	☁️	☁️	☁️
不動産業	☁️	☁️	☔️	☔️	☁️	☁️	☁️	☀️	☁️

全業種

	2022年(令和4年)			2023年(令和5年)				2024年 (令和6年)	見 通 し 2024年(令和6年)
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月
業 況	△15.8	△12.5	7.1	△16.6	△ 0.6	△ 4.2	2.5	△17.5	△12.5
売 上 額	3.4	2.8	19.4	△18.8	8.3	10.7	3.8	△20.6	11.3
受 注 残	△ 2.4	△ 1.2	29.6	△21.0	3.8	2.5	4.2	△28.6	5.2
収 益	△ 4.5	△ 8.5	10.6	△21.2	△ 8.9	△ 4.2	△ 7.6	△24.4	2.5
販 売 価 格	22.0	29.0	34.7	27.1	32.5	27.4	28.0	11.9	15.0
原 材 料 価 格	70.1	67.0	70.0	57.4	54.4	54.2	42.0	37.5	33.1
在 庫	0.7	10.2	△ 4.3	△ 2.1	2.8	4.3	9.1	1.5	4.5
資 金 繰 り	△ 7.3	△10.2	△11.2	△ 9.5	△ 7.1	△ 8.3	△ 8.9	△16.3	△14.4
雇 用 (人手)	△23.2	△30.7	△34.1	△33.9	△33.7	△34.5	△35.0	△31.9	△34.4
設 備 状 況	△10.4	△16.0	△14.7	△13.5	△11.0	△14.3	△15.4	△13.6	△16.3

設備投資動向

設備投資は、不動産業を除いた147社の動向です。

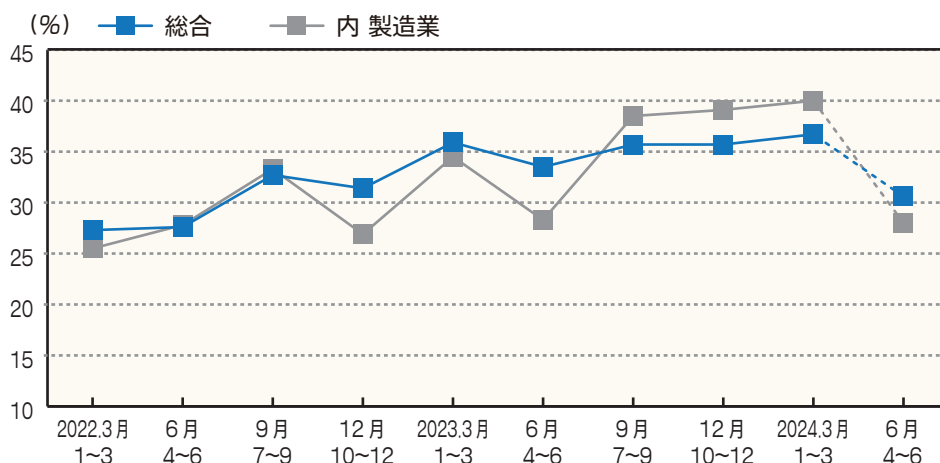
● 1～3月の設備投資実施状況

		有	無
	数	54	93
総 合	%	36.7	63.3
(内 製造業)	数	20	30
	%	40.0	60.0

(来期見通し)

		有	無
	数	45	102
総 合	%	30.6	69.4
(内 製造業)	数	14	36
	%	28.0	72.0

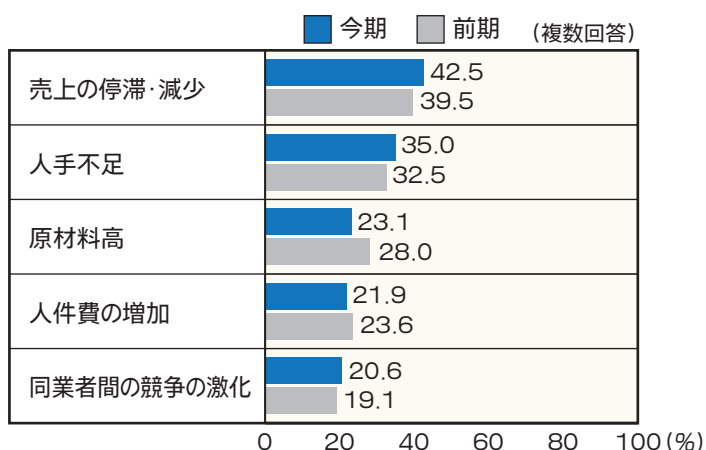
● 設備投資実施(予定)割合



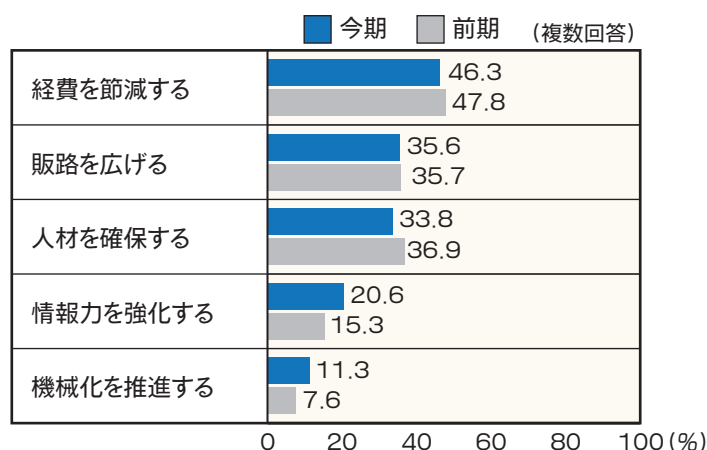
● 1～3月に実施した設備投資の内訳(複数回答)

		事業用 土地・建物	機械・設備の 新增設	機械・設備の 更改	事務機器	車両	その他
	%	2.7	9.5	12.9	5.4	12.2	3.4
総 合							
(内 製造業)	%	2.0	8.0	16.0	4.0	14.0	4.0

経営上の問題点



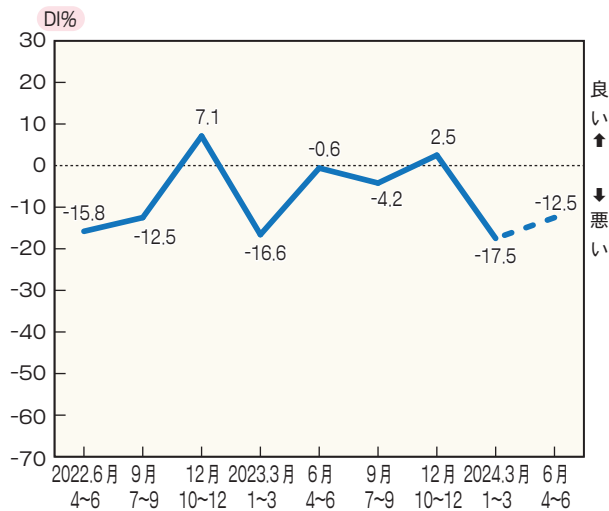
重点経営施策



全業種

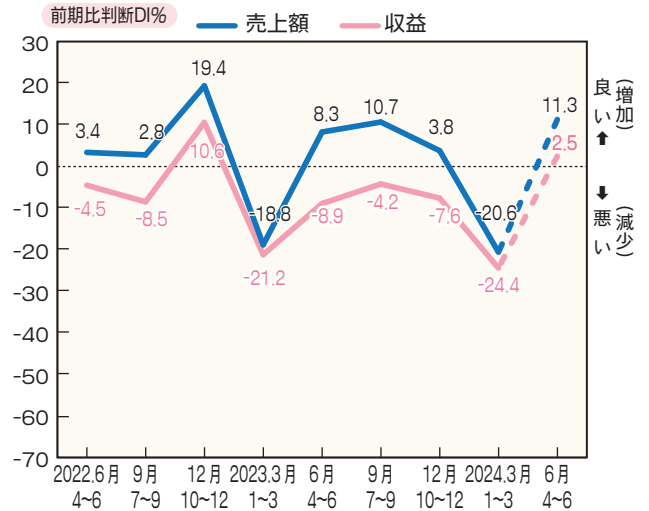
業況

前期から20.0ポイント悪化し、
来期は5.0ポイント改善すると予想



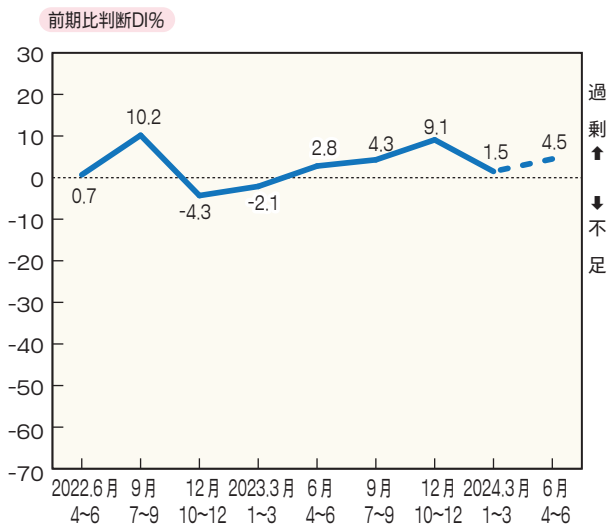
売上額・収益

売上額・収益ともに悪化し、
来期はともに大きく改善すると予想



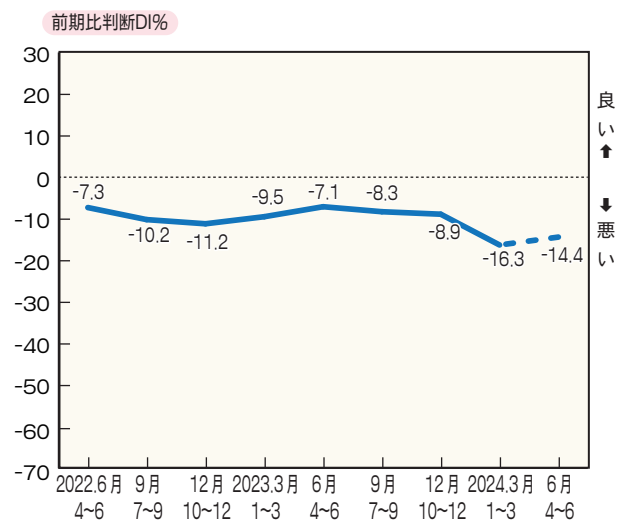
在庫

今期1.5(前期9.1)と
過剰な在庫が改善した



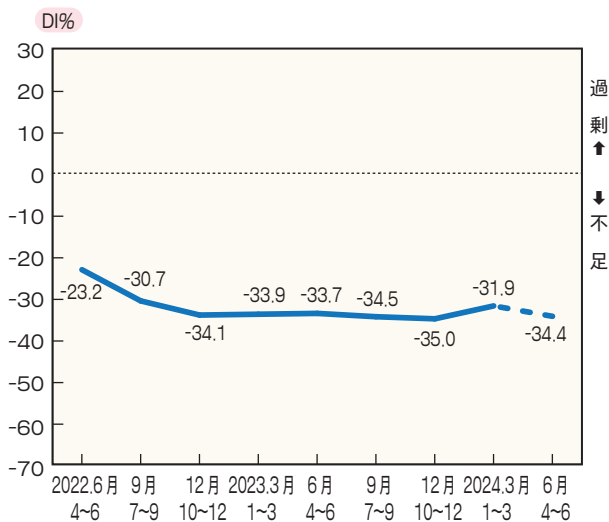
資金繰り

今期▲16.3(前期▲8.9)
と悪化した



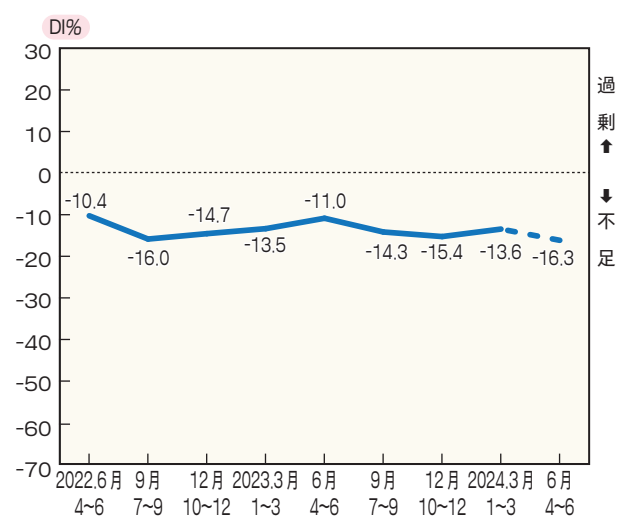
雇用

今期▲31.9(前期▲35.0)と改善したが、
水準は変わらず▲30.0以下を維持



設備の状況

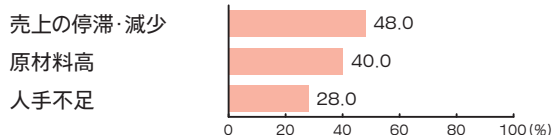
今期▲13.6(前期▲15.4)と改善したが、
水準は変わらず▲10.0以下を維持



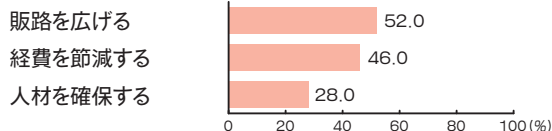
製造業

業況・売上額・収益
とも悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



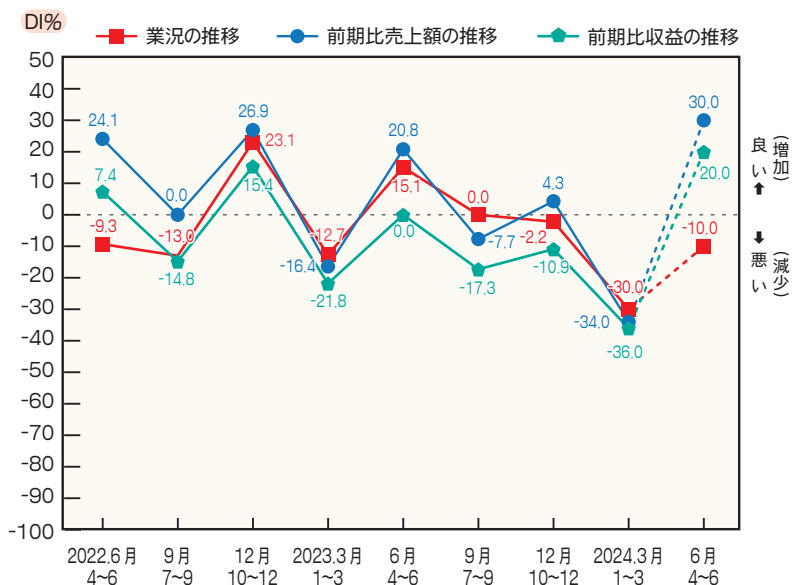
◆ 昨年同時期(2023年1~3月)に比した動き

売上額	△14.0
収益	△18.0

◆ 借入金の動き

借入の実施	18.0%
借入の予定	34.0%

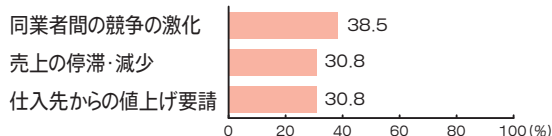
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



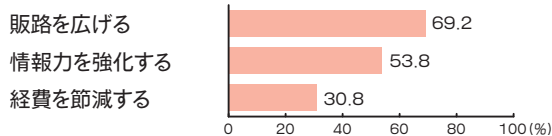
卸売業

業況・売上額・収益
とも悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



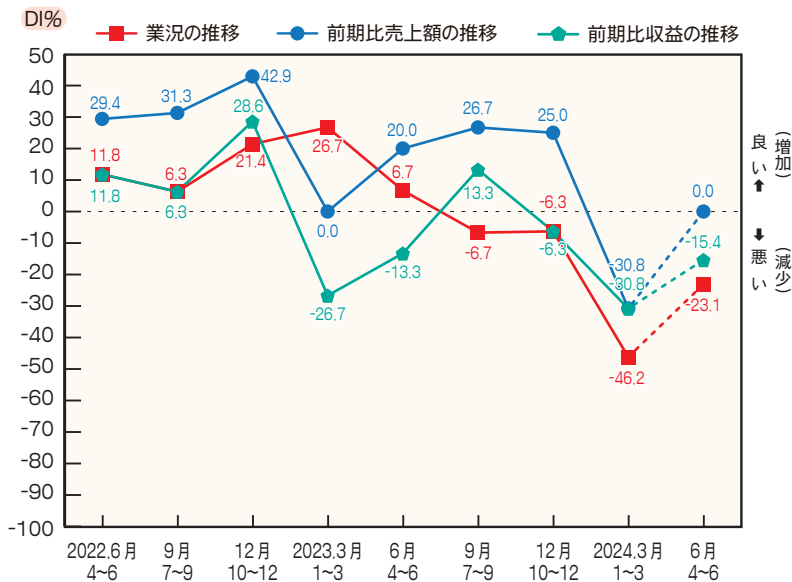
◆ 昨年同時期(2023年1~3月)に比した動き

売上額	△46.2
収益	△38.5
販売価格	0.0

◆ 借入金の動き

借入の実施	38.5%
借入の予定	46.2%

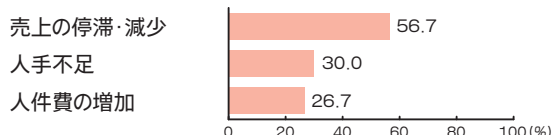
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



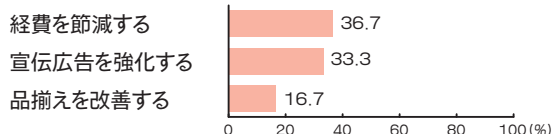
小売業

業況・売上額・収益
ともに悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



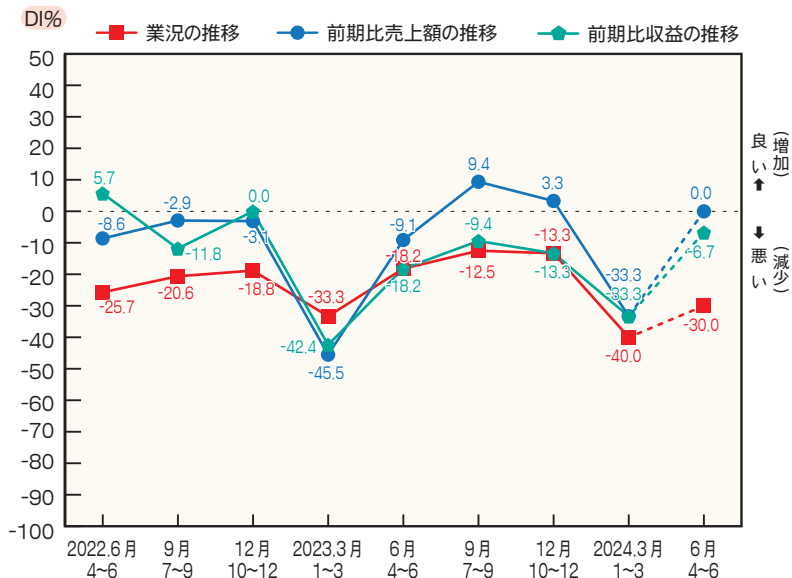
◆ 昨年同時期(2023年1~3月)に比した動き

売上額	△16.7
収益	△30.0
販売価格	23.3

◆ 借入金の動き

借入の実施	23.3%
借入の予定	16.7%

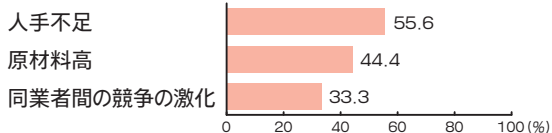
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



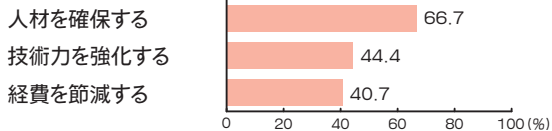
建設業

業況・売上額・収益
ともに悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



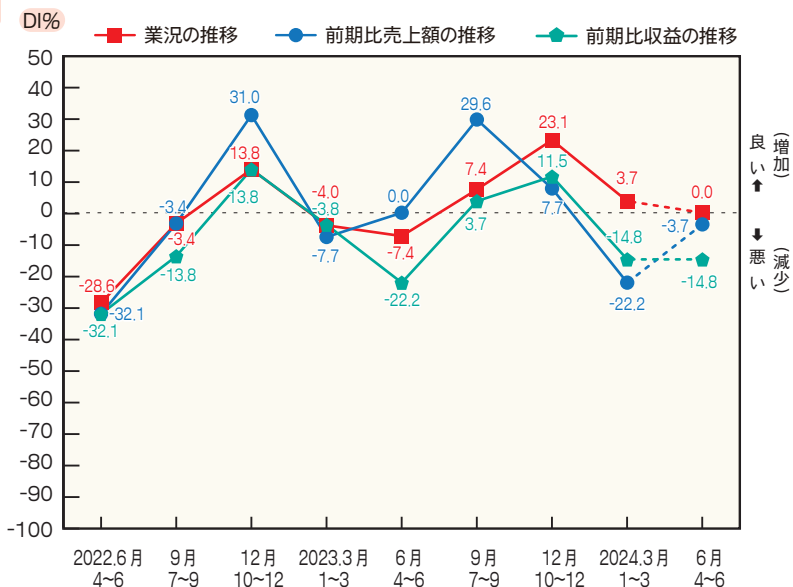
◆ 昨年同時期 (2023年1~3月) に比した動き

売上額	0.0
収益	0.0

◆ 借入金の動き

借入の実施	22.2%
借入の予定	22.2%

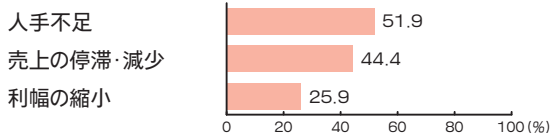
◆ 業況判断D.I.・前期比売上額・収益の推移



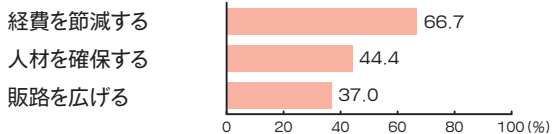
サービス業

売上額のみ改善し、
業況・収益ともに悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



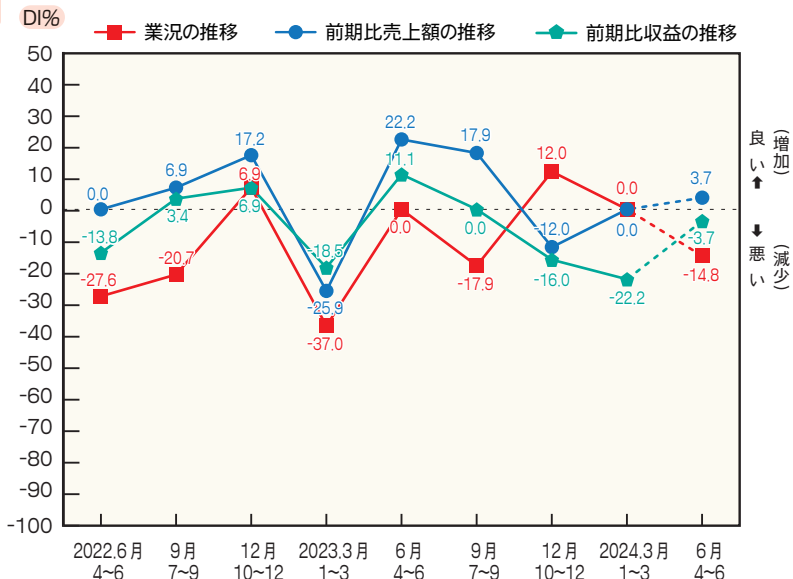
◆ 昨年同時期 (2023年1~3月) に比した動き

売上額	△11.1
収益	△18.5

◆ 借入金の動き

借入の実施	14.8%
借入の予定	18.5%

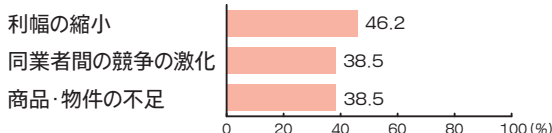
◆ 業況判断D.I.・前期比売上額・収益の推移



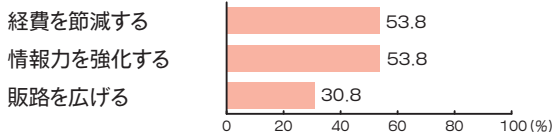
不動産業

業況・売上額・収益
ともに改善

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



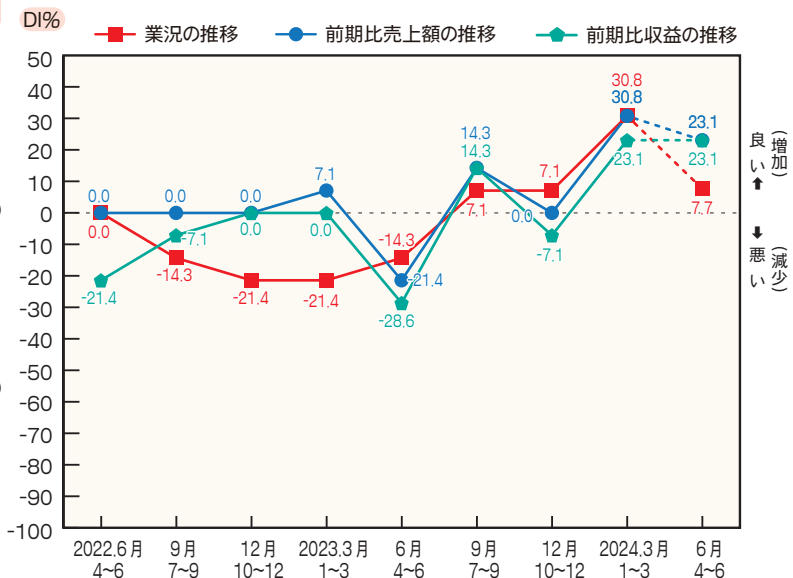
◆ 昨年同時期 (2023年1~3月) に比した動き

売上額	7.7
収益	15.4

◆ 借入金の動き

借入の実施	30.8%
借入の予定	38.5%

◆ 業況判断D.I.・前期比売上額・収益の推移

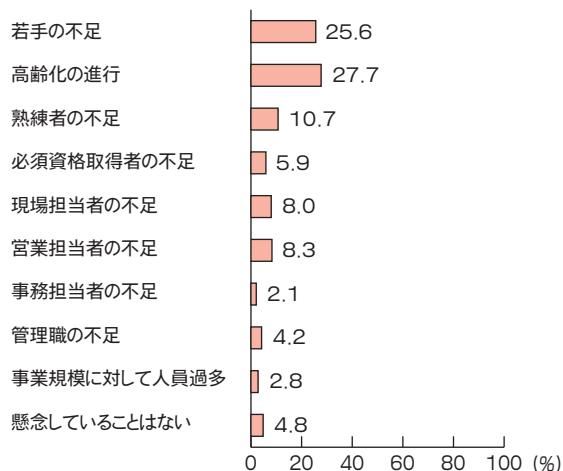




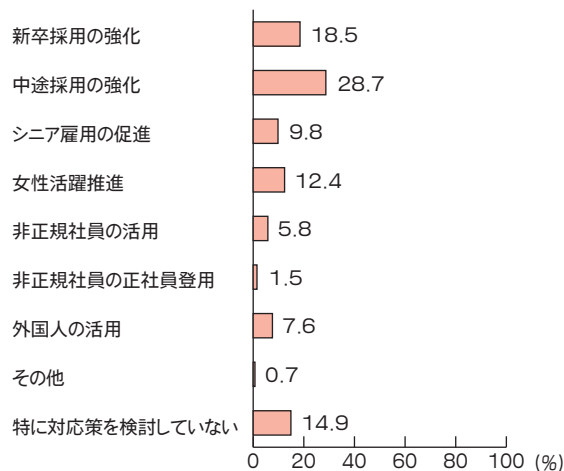
中小企業における人材戦略について

160社に調査し回答をいただいたものです。

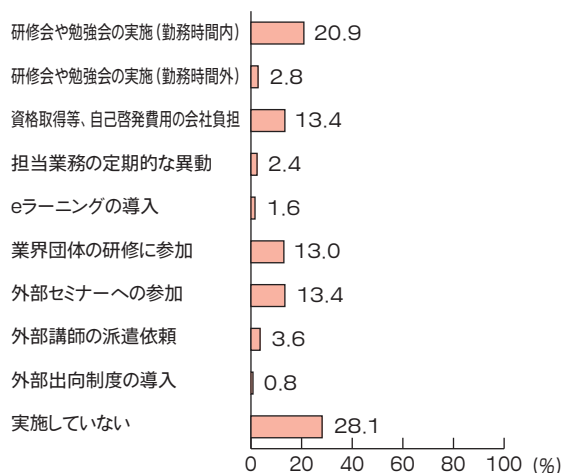
1 現在の人材の状況について懸念していることに当てはまるものをお選びください。(複数回答可)



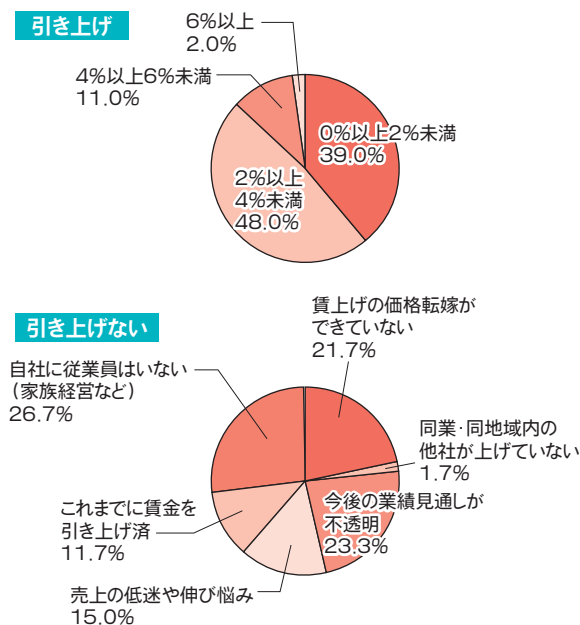
2 今後の人材に対する対応策について当てはまるものをお選びください。(複数回答可)



3 人材育成において、職場内での実地の訓練 (OJT) 以外の取組みについて当てはまるものをお選びください。(複数回答可)



4 人材定着などに向けた2024年中に賃金 (定期昇給分除く、賞与や一時金除く) の引き上げについて、引き上げる方はその賃金引き上げ率について、引き上げない方は引き上げなかった理由について、それぞれ当てはまるものをお選びください。



5 2024年4月から、建設業、自動車運転業、医師などで残業時間の上限規制が始まります (2024年問題)。これに伴い、貴社では、業務への影響が出ると見込まれますか。また、貴社では2024年問題を受けて何らかの対応策を取りましたか。それぞれに当てはまるものをお選びください。

